

2018年度会員名簿更新状況

会員名簿維持管理委員会委員長
4期・田中健一

1. 2018年度会員名簿更新件数

	登録変更者数	備考
2018年4月	3	
2018年5月	2	
2018年6月	4	
2018年7月	1,040	卒業生追加 32期生796名+2017年HCP分
2018年8月	2	
2018年9月	390	ほぼI n a j i n返送分
2018年10月	7	
2018年11月	3	
2018年12月	1	
2019年1月	105	
2019年2月	3	
2019年3月	2	
合計	1,562	

2. 年次別会員名簿登録数

年次	入学年	総数	状態「通常」	備考1	備考2	捕捉率
1	1984	536	311	各ハウス2クラス	AB	58.0%
2	1985	819	510	各ハウス3クラスに	EFG	62.3%
3	1986	1,099	698	各ハウス4クラスに	IJKL	63.5%
4	1987	1,128	726		ABCD	64.4%
5	1988	1,149	728		EFGH	63.4%
6	1989	1,139	701		IJKL	61.5%
7	1990	1,127	659		ABCD	58.5%
8	1991	1,090	666		EFGH	61.1%
9	1992	1,091	664		IJKL	60.9%
10	1993	1,098	674		ABCD	61.4%
11	1994	1,058	633		EFGH	59.8%
12	1995	945	606	1クラスあたりの生徒数減少	IJKL	64.1%
13	1996	955	606		ABCD	63.5%
14	1997	959	625		EFGH	65.2%
15	1998	934	601		IJKL	64.3%
16	1999	945	635		ABCD	67.2%
17	2000	955	640	学籍番号が00～に	EFGH	67.0%
18	2001	953	660		IJKL	69.3%
19	2002	964	701		ABCD	72.7%
20	2003	773	580	1ハ伊奈中に。提供データにTEL	EFGH	75.0%
21	2004	809	608		IJKL	75.2%
22	2005	773	608	学籍番号が2005～に	ABCD	78.7%
23	2006	787	637		EFGH	80.9%
24	2007	797	642		IJKL	80.6%
25	2008	795	664	提供データに性別の記載	ABCD	83.5%
26	2009	799	699		EFGH	87.5%
27	2010	797	712		IJKL	89.3%
28	2011	787	729		ABCD	92.6%
29	2012	793	743		EFGH	93.7%
30	2013	748	721		IJKL	96.4%
31	2014	798	781		ABCD	97.9%
32	2015	796	792		EFGH	99.5%
	総合計	29,196	20,960		平均	71.8%

総数：データベース上での登録数

通常：現在有効な登録数

2018 年度のウェブサイト更新実績

タイトル	作成者	日時
新年度始まりました！&卒業生TV出演予定	石川 剛	2018/04/14
8期生サッカー部出身の夢	石川 剛	2018/05/02
2018年度第1回四役会 議事録を掲載します。*	石川 剛	2018/06/17
2018年第1回同窓会理事会開催のご案内	森下 凌介	2018/07/13
2018第1回理事会開催しました。	石川 剛	2018/07/22
11月15日開催「先輩と夢を語ろう」講師募集！	濱野 拓也	2018/07/27
2018年度総会といなほ祭お知らせ	石川 剛	2018/08/04
Inajin 40号発送いたしました。	石川 剛	2018/08/30
2018いなほ祭と同窓会の部屋と伊奈学園同窓会総会のご案内	石川 剛	2018/09/07
2018伊奈学園総合高等学校同窓会総会終了いたしました。	石川 剛	2018/09/11
2018年度第1回いなじんたまりばー開催します	森下 凌介	2018/09/17
【22期生対象】ホームカミングパーティー開催のお知らせ	石川 剛	2018/10/02
22期生の皆さんへ10月20日お待ちしております！	石川 剛	2018/10/11
いなじんたまりbar 1月5日伊奈学にきませんか？塗装ボランティア募集です。	石川 剛	2018/12/22別
あけましておめでとうございます 本年もよろしくお願いいたします	石川 剛	2019/01/05

いなじん交流会開催報告

いなじん交流推進委員会委員長
24期 森下 凌介

いなじん交流会について、次のとおり報告いたします。

開 催 回	第12回	事業等の名称	いなじんたまりbar	
実 施 日	2018年10月13日		開 催 場 所	浦和 かふえ&だいにんぐ ろーたす
開 催 概 要	3年ぶりの浦和『かふえ&だいにんぐ ろーたす』（店主高瀬雅和）にて開催した。1期から直近に卒業したばかりの31期が参加した。今回、「1期から31期までが楽しめる交流会」をテーマとした。介護施設などでマジックのイベントを行っている卒業生にゲスト参加をお願いし、テーブルマジックの披露を依頼した。また今回参加費負担を見直し、年功序列式を取り入れた。			
参 加 者 (敬称略)	青木かおり	青木高峰	青木郷	大道加奈子
	駒井香子	小柴遼太郎 (初)	近藤聖貴 (初)	佐藤由美
	石川剛	川村正衡	早坂拓紀	森下凌介
収入 (内訳)	44,000円+同窓会支出6,600円			
支出 (内訳)	50,600円 飲食費：45,600円 講演費：5,000円 雑費：1,600円			
補助金額	収入 50,600円 - 支出 50,600円 = 0円			



いなじん交流会開催報告

別紙3-2

いなじん交流推進委員会委員長
24期 森下 凌介

いなじん交流会について、次のとおり報告いたします。

開 催 回	第 1 回	事業等の名称	いなじんたまりbar番外編	
実 施 日	2019年1月5日		開 催 場 所	埼玉県立伊奈学園総合高等学校駐車場
開 催 概 要	今回、高校の顔になる駐車場の看板のさびがひどい状況であった。前例は無いが、学校のため、貢献できる初の試みであった。学校事務局施設課長を通し、作業の正式承認を得た。ボランティアとして1名、四役から3名参加し作業を行った。			
参 加 者 (敬称略)	石川剛	小林二美	川村正衡	村松猛
収入 (内訳)	0円			
支出 (内訳)	村松より材料支給の申出があったため、0円			
補助金額	収入 0円 － 支出 0円 ＝ 0円			



ホームカミングパーティー開催報告

平成31年1月19日

ホームカミングパーティー運営委員会委員長

21期 多胡 晋太郎

年次理事活動運営補助金につきまして、次のとおり報告いたします。

実施日	平成30 年 10月 20日(土)	場 所	天空のジパング	
事業等の名称	伊奈学園総合高等学校22期 ホームカミングパーティー			
参加者名簿	西牧 良純	川野 萌	志太 絵理	金子 知加
				石川 剛
事業等実際額	収入 参加者会費 7,000 円×4人=28,000 円 支出 会場支払額 28,000円 収入 28,000円 - 支出 28,000円=0円			
補助金振込先	銀行名			
	口座名義			
	店番・口座番号			
補助金 入金希望日				

領収書
※領収書添付はなし

《 全体写真 添付 》



先輩と夢を語ろう開催報告

先輩と夢を語ろう実行委員会委員長
24期・濱野拓也

先輩と夢を語ろうについて、次のとおり報告いたします。

開催回	第10回	事業等の名称	先輩と夢を語ろう	
実施日	2018年11月15日(木)	開催場所	伊奈学園外語棟	
開催概要	2018年11月15日 講師14名、生徒保護者含め80名の方にご参加いただき無事開催できました。 第一部全体会40分：先輩講師の自己紹介、第二部分科会1時間10分：業界や職種ごとにグループを作り、在校生は希望するグループへ話を聞きに行くスタイル 在校生の中で、昨年も先輩と夢を語ろうに参加してくれたリピーター、学生の方が参加せずに保護者の方が参加し、熱心に話を聞いていく方もおりました。 アンケートからは先輩の話をきいて視野が広がったといった意見が多くございました。			
参加者 (敬称略)	菊地 則夫	大淵 隆	前島 弘美	川村 正衝
	村山 正宜	相葉 真貴子	森下 凌介	金子 晃彦
	菊池 安恒	島田 訓弘	西田 敬	佐野 大輔
	金井 友宏	濱野 拓也	講師 14名	
	大道 加奈子	近藤 聖貴	早坂 拓紀	長井 恵
	石川 剛	村松 猛	浦口 宏俊	スタッフ7名計21名
予算 (内訳)	200,000円			
支出 (内訳)	合計 29,222円			
補助金額	講師スタッフ懇親会費用27,200円、講師スタッフお茶代 2,222円 200,000円ー29,222円＝170,778円			



決 算 報 告 書 (案)

自 平成 3 0 年 4 月 1 日
至 平成 3 1 年 3 月 3 1 日

埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会

収 支 計 算 書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会

(単位：円)

科目	予算額	流用額	決算額	備考
I 収入の部				
1. 会 費 ・ 入 会 金 収 入	4,000,000		3,985,000	入会金5,000円×32期796名
2. 会 報 誌 広 告 料 収 入	70,000		105,000	広告料10,000円×6件、5,000円×9件
3. そ の 他 収 入	5,000		610	預金利息
4. 会 報 誌 継 続 購 読 料 繰 入 収 入	503,195		0	継続購読料繰入
当期収入合計 (A)	4,578,195	0	4,090,610	
II 支出の部				
1. 運 営 費				
会 議 費	100,000		22,900	会場費、会議飲み物代、案内送付費等
庶 務 費	100,000		75,096	決算書作成費、振込手数料、残高証明書料、他
交 通 費	50,000		8,676	会議交通費、他
ウ ェ ブ サ イ ト 維 持 管 理 費	70,000		52,960	レンタルサーバー代
慶 弔 費	500,000		468,681	卒業時記念品、他
備 品 費	50,000		6,768	トナー、用紙代、他
物 品 保 管 費	10,000		0	備品、他保管費
小 計	880,000	0	635,081	
2. 事 業 費				
会 報 誌 制 作 費	775,000		675,000	Inajin vol.40 制作費
会 報 誌 等 印 刷 費	750,000		642,600	Inajin vol.40 印刷費
会 報 誌 通 信 費	1,800,000		1,796,655	Inajin vol.40 郵送費
い な じ ん 交 流 会 事 業 費	90,000		5,000	いなじん交流会
H C P 事 業 費	450,000		78,304	未来へのはがき郵送費
記 念 事 業 費	200,000		29,422	「先輩と夢を語ろう」講師他懇親会費
年 次 活 動 支 援 事 業 費	80,000		0	理事説明会懇親会費、名刺代、スタッフ交通費
部 活 動 支 援 事 業 費	300,000		0	全国大会出場部活への支援
会報誌継続購読返金(過年度分)	483,195		0	会報誌継続購読料返金6,000円×0名
会報誌継続購読返金振込手数料	20,000		0	振込手数料(会報誌継続購読料返金)
小 計	4,948,195	0	3,226,981	
3. 予 備 費	2,868,713	0	0	
当期支出合計 (B)	8,696,908	0	3,862,062	
当期収支差額 (A) - (B)	▲ 4,118,713	0	228,548	
前期繰越収支差額	4,118,713		4,118,713	
次期繰越収支差額	0		4,347,261	

上記の通り報告いたします。

2019年 8月 3日

埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会

会 長 石川 剛

印

会 計 川村 正衡

印

貸借対照表

平成31年 3月31日現在

埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
小口預金	4,347,261		
流動資産合計		4,347,261	
2 固定資産			
什器備品	1		
会報誌継続購読引当預金	502,889		
【基本財産】			
普通預金	262,915		
定期預金	38,159,198		
基本財産合計	38,422,113		
固定資産合計		38,925,003	
資産合計			43,272,264
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産			43,272,264
(うち基本財産)			(38,422,113)
(当期正味財産増加額)			(241,469)
負債及び正味財産合計			43,272,264

正味財産増減計算書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会

(単位：円)

科目		金額	
I	増加原因の部		
1	基本財産運用収入		
	基本財産利息増加額	13,458	13,458
2	運営事業収入		
	会費・入会金収入	3,985,000	3,985,000
3	その他収入		
	会報誌広告料収入	105,000	
	その他収入	610	105,610
	増加額合計		4,104,068
II	減少原因の部		
1	運営費		
	会議費	22,900	
	庶務費	75,096	
	交通費	8,676	
	ウェブサイト維持管理費	52,960	
	慶弔費	468,681	
	備品費	6,768	
	物品保管費	0	
	減価償却費	3	635,084
2	事業費		
	会報誌制作費	675,000	
	会報誌等印刷費	642,600	
	会報誌通信費	1,796,655	
	いなじん交流会事業費	5,000	
	HCP事業費	78,304	
	記念事業費	29,422	
	年次活動支援事業費	0	
	部活動支援事業費	0	
	会報誌継続購読返金(過年度分)	0	
	会報誌継続購読返金振込手数料	0	3,226,981
3	特別事業費		
	学園活動支援事業(いなほ基金)手数料	534	534
	減少額合計		3,862,599
	当期正味財産増加額		241,469
	前期繰越正味財産額		43,030,795
	期末正味財産合計額		43,272,264

【参考】

特別会計（会報誌継続購読事業） 収支計算書

平成31年 3月31日現在

埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会

(単位：円)

科目	決算額	備考
I 収入の部		
平成21年度 会報誌継続購読料新規収入	696,000	6,000円×116人
平成22年度 会報誌継続購読料新規収入	36,000	6,000円×6人
平成23年度 会報誌継続購読料新規収入	60,000	6,000円×10人
収入合計（A）	792,000	
II 支出の部		
平成21年度 ゆうちょ振替手数料	11,000	80円×70人、120円×45人、1人は手数料0円
平成22年度 ゆうちょ振替手数料	600	80円×3人、120円×3人
会報誌事業引当預金繰入	68,500	21年度残金685,000円の10年分の1年
振込手数料	420	同窓会小口通帳への振込手数料
平成23年度 ゆうちょ振替手数料	1,040	80円×4人、120円×6人
会報誌事業引当預金繰入	68,500	21年度残金685,000円の10年分の1年
振込手数料	420	同窓会小口通帳への振込手数料
平成24年度 会報誌継続購読返金（過年度）	90,000	6,000円×15人
会報誌継続購読返金振込手数料	2,940	315円×1人、210円×11人、105円×3人
振込手数料	630	同窓会小口通帳への振込手数料
平成25年度 会報誌継続購読返金（過年度）	24,000	6,000円×4人
会報誌継続購読返金振込手数料	735	210円×3人、105円×1人
振込手数料	210	同窓会小口通帳への振込手数料
平成26年度 会報誌継続購読返金（過年度）	6,000	6,000円×1人
会報誌継続購読返金振込手数料	216	216円×1人
振込手数料	216	同窓会小口通帳への振込手数料
平成27年度 会報誌継続購読残高証明代	514	
会報誌継続購読返金（過年度）	6,000	6,000円×1人
会報誌継続購読返金振込手数料	216	216円×1人
振込手数料	216	同窓会小口通帳への振込手数料
平成28年度 会報誌継続購読返金（過年度）	6,000	6,000円×1人
会報誌継続購読返金振込手数料	216	216円×1人
振込手数料	216	同窓会小口通帳への振込手数料
平成29年度 会報誌継続購読残高証明代	102	(2016年度)
会報誌継続購読残高証明代	102	
平成30年度 会報誌継続購読残高証明代	102	
支出合計（B）	289,111	
特別会計（会報誌継続購読事業）残額（A－B）	502,889	

上記の通り報告いたします。

2019年 8月 3日 埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会 会 長 石川 剛
会 計 川村 正衡

㊞

㊞

監 査 報 告 書

2019年8月3日

埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会 御中

埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会会則に基づき、2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会における財産目録および計算書類を含め業務運営ならびに財産について監査いたしました。業務に関する内容および執行は適切であり財産目録および計算書類は会計帳簿と合致し、収支および財産の状況を正しく示しております。

その結果、事業報告書、財務諸表等は、当該年度の会務の執行ならびにすべての財源、その使途および当該年度末における財政状態を適正に表示し合法かつ正確であるものと認めます。

監事

後藤 昌弘 

監事

菊地 則夫 

(名称)

第1条 本会は、埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会と称する。

(事務局)

第2条 本会は事務局を埼玉県立伊奈学園総合高等学校（以下「本校」という。）内に置く。

(目的)

第3条 本会は会員相互の親睦を図るとともに、本校の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。なお、細部については細則に定める。

- (1)会報の発行
- (2)会員名簿の維持および管理
- (3)本会のウェブサイトの維持および管理
- (4)本校の行う諸行事への参加および後援
- (5)本校生徒の行う課外活動への支援
- (6)親睦会の開催
- (7)その他、本会の目的に副う事業。なお、政治活動および宗教活動は行わない。

(会員)

第5条 本会の会員は、次のとおりとする。

- (1)正会員 本校の卒業生
- (2)特別会員 本校の現旧教員および職員

(役員)

第6条 本会には次の役員を置く。

- (1)会長 1名
- (2)副会長 若干名
- (3)専門委員長 専門委員会ごとに1名
- (4)理事 卒業年次ごとに若干名
- (5)監事 2名
- (6)会計 若干名（複数の場合、代表を定める。）
- (7)顧問 若干名

(役員の任務)

第7条 本会の役員の任務は次のとおりとする。

- (1)会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2)副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、これを代行する。
- (3)専門委員長は、各種事業の企画運営に当たる。
- (4)理事は、総会で議決する議案の審議を行う。
- (5)監事は、年度末において、経理と議事録および備品を監査し、その結果を総会において報告する。
- (6)会計は、本会の会計業務を行う。
- (7)顧問は、会長の諮問に応え、本会の運営について、必要な助言を与える。

(役員の選出)

第8条 本会の役員の選出方法は次のとおりとする。

- (1)会長、副会長、監事および会計は、四役会において正会員の中から選出し、理事会および総会の承認を得る。
- (2)専門委員長は、それを構成する委員の中から各専門委員会で互選し、理事会および総会の承認を得る。
- (3)理事は正会員の中から選出し、理事会および総会の承認を得る。
- (4)顧問は、本校校長を推すほか、本会に特に功績があった者の中から四役会の推薦に基づいて会長が委嘱する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は1か年とし、再任を妨げない。

2.副会長、監事および会計に欠員が生じたときは、四役会で補充できるものとし、その役員の任期は、前任者の残任期間とする。

3.前項にかかわらず、理事に欠員が生じたときは、理事会で補充できるものとする。

(専門委員会の設置)

第10条 第4条に規定された事業を行うために、専門委員会を置く。細部については細則に定める。

(専門委員)

第11条 専門委員は正会員の中から選出し、所属する専門委員会の任務を行う。

(会議の種類)

第12条 本会の会議は、総会、四役会および理事会とする。

(総会)

第13条 総会は次のとおりとする。

(1)総会は、定期総会および臨時総会とする。

(2)総会は、全正会員をもって組織する。

(3)定期総会は、毎年1回開くことを原則とする。

(4)臨時総会は、必要に応じ、四役会の決議に基づき行う。

(四役会)

第14条 四役会は、会長、副会長、専門委員長および会計をもって組織する。

2.四役会は、これを組織する役員の3分の2以上の出席を要する。

(理事会)

第15条 理事会は、会長、副会長、専門委員長、会計および理事をもって組織する。

(招集手続)

第16条 会議はすべて会長が招集する。

2.会議を招集するには、少なくとも会議を開く日の1か月前までに、日時、場所および内容を示して、これを組織する会員に通知する。

3.第2項にかかわらず、四役会は随時招集することができる。

(議長)

第17条 各会議の議長は、会議に出席した会員の中から選出する。

(議決)

第18条 本会の各会議の議決は、これを組織する出席者の過半数の賛成をもって議決する。賛否同数のときは議長がこれを決定する。

2.前項にかかわらず、会則の改正は、総会出席正会員の3分の2以上の賛成をもって議決する。

(総会の議決事項)

第19条 次の事項については、総会の議決を経なければならない。

(1)役員の承認

(2)事業報告および事業計画

(3)決算および予算

(4)会則の改正

(5)細則の制定および廃止、ならびに第4条に定める事業に関する細則の改正および第23条に定める経費に関する細則の改正

(6)四役会に委任する事項

(7)その他、本会の事業に関する重要事項

(理事会の議決事項)

第20条 理事会は、四役会の作成した議決内容および総会提出議案を審議し、議決する。

（四役会の議決事項）

第21条 四役会は、理事会に提出する次の議案を作成する。

- (1)会長、副会長、監事および会計の選出
- (2)事業報告および事業計画
- (3)決算および予算
- (4)会則の改正
- (5)細則の制定、廃止または改正
- (6)総会によって委任された事項
- (7)その他、本会の事業に関する事項

（議事録の作成、保管および閲覧）

第22条 各会議の議事については、議事録を作成しなければならない。

2.会長は、議事録を保管し、会員にこれを閲覧させなければならない。

（経費）

第23条 本会の収入は、会費、寄付金およびその他の収入でまかなう。会費の金額等については細則に定める。

2.本会の支出は、運営費、事業費、その他の費用とする。支出の金額等については細則に定める。

（会計年度）

第24条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。

（慶弔）

第25条 正会員の慶弔については細則に定める。

附則

（1987年4月1日施行）

第1条 この会則は1987年4月1日より施行する。

第2条 本会会則の施行に必要な事項は別に定めることができる。

（1991年9月8日改正）

第3条 本会則第7条および第8条の改正は1991年9月8日から施行する。

（1999年4月1日改正）

第4条 本会則第24条の改正に伴い、本会における1999会計年度は、変則的に1999年4月1日より2000年8月31日までとする。ただし、1999年9月の総会において、会長は1999年度会計の中間決算を提出し、承認を得なければならない。この修正会則は1999年4月1日から施行する。

（2013年9月8日改正）

第5条 本会則の一部を改正し、2013年9月8日から施行する。

（2018年9月8日改正）

第6条 本会則の一部を改正し、2018年9月8日から施行する。

埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会細則

（会報）

第1条 埼玉県立伊奈学園総合高等学校同窓会（以下「本会」という。）会則第4条第1号に定める会報の取扱いは、次のとおりとする。

- (1)発行回数は年間1回以上とする。
- (2)会員1名につき、会報1部を送付する。

（名簿の登録情報）

第2条 本会会則第4条第2号に定める名簿の登録情報は、次のとおりとする。

- (1)登録する情報の扱いは、本会の個人情報保護規定による。なお、登録情報は本会の活動以外には用いない。
- (2)登録する情報は、会員の氏名（卒業時の氏名を含む）、ホームルーム、メールアドレス、住所、電話番号、勤務先（進学先）、その他同窓会活動に関する情報とする。
- (3)登録情報の変更は、正会員本人の申し出による。

（名簿の利用目的）

第3条 本会会則第4条第2号に定める名簿の利用目的は、次のとおりとする。

- (1)会報の発送
- (2)クラス会、もしくは部活動等における会合の案内
- (3)理事会等、本会が主催する会議および会合の案内
- (4)その他本会の目的において必要とされる場合

（支援費用の支出）

第4条 本会会則第4条第5号に定める支援費用は、次のとおりとする。

- (1)本校生徒の行う課外活動を支援するため、他に支援が得られる場合を除き、必要に応じて本会会計より交通費、宿泊費、広告費、備品購入費等を支出することができる。
- (2)1団体につき1名あたり5,000円または1回あたり50,000円のうちいずれか低い額を目安とし、原則として1団体につき年間10万円を限度とする。
- (3)四役会の決定により、支出を決める。

（理事の選出）

第5条 本会会則第8条第3号に定める理事の選出は、原則として次のとおりとする。

- (1)卒業時の各ホームルームから代表者を若干名選出する（以下「ホームルーム代表者」という。）。なお、ホームルーム代表者は本会に届出ることにより交代することができる。
- (2)前号のホームルーム代表者の互選により、卒業年次ごとに理事を若干名選出し、理事会の承認を得る。
- (3)第2号にかかわらず、理事に立候補する者は理事会に報告して承認を得ることで選出される。

（専門委員会）

第6条 本会会則第10条に定める専門委員会は、次のとおりとする。

- (1)会報誌編集委員会
- (2)会員名簿維持管理委員会
- (3)ウェブサイト維持管理委員会
- (4)その他、総会の承認を得た事業を行う委員会

（会費）

第7条 本会会則第23条第1項に定める正会員の会費は、入会金5,000円とする。

（会議費用）

第8条 本会会則第23条第2項に定める運営費のうち、会議費として、次の各号について、必要に応じて本会会計より会場費、資料代等を支出する。

- (1)本会会則第12条に定める会議
- (2)正副会長の会議および会合
- (3)本会会則第10条に定める専門委員会の会議および会合
- (4)その他、同窓会の運営に必要な会合や作業で、会長が認めたもの

(交通費)

第9条 本会会則第23条第2項に定める運営費のうち、交通費として、正会員が本会の業務により鉄道、バス等の公共交通機関を利用する場合の費用を必要に応じて本会会計より支出する。なお、公共交通機関以外の交通手段（マイカー等）に対する交通費は一切支給しない。

2.鉄道運賃は普通運賃を支給する。急行料金、特急料金、座席料金は支給しない。

(交通費の支給対象)

第10条 交通費の支給対象は次のとおりとする。

- (1)会長、副会長、専門委員長および会計が、本会会則第12条に定める会議に出席するための交通費
- (2)理事が理事会に出席するための交通費
- (3)監事が監査報告を行う総会に出席するための交通費
- (4)その他、同窓会の運営に必要な会合や作業で、四役会が認めたもの

(交通費の支給額)

第11条 交通費の支給額は自宅から会場までの往復の費用とし、1日あたり3,000円を限度とする。なお、交通費の支給を受ける者は、会場までの経路および交通機関について、合理的かつ安価なものを選択するように努めなければならない。

2.前項にかかわらず、自宅以外の場所から会場に向かう場合や、移動経路に定期券区間が含まれている場合などで、その交通費の方が安価であれば、実際にかかった費用を対象とする。

3.会長、副会長、専門委員長および会計については実費で支給する。それ以外の者については500円単位に切り上げた額で支給する。

(交通費の精算手続)

第12条 理事は理事会に出席するための交通費について、開催案内で定める期日までに会場までの経路および金額を会長に届け出なければならない。

2.前項の交通費については、理事会当日に精算することとし、後日の精算は原則として行わない。

3.前2項以外の場合の交通費は、業務を終えた後、当該会計年度中に精算をしなければならない。

(慶弔)

第13条 本会会則第25条に定める正会員に対する慶弔は、次のとおりとする。

- (1)入会時に記念品を贈る。
- (2)その他、必要のある場合には四役会の決定により支出を決める。

(改正)

第14条 本細則は、総会の決定により改正することができる。

附則

(1988年9月11日改正)

第1条 本細則第7条第1号に定める入会金の額は、第3回（1989年3月）卒業生より3,000円とし、他の条項は1988年4月1日に遡及して適用する。

(1990年9月9日改正)

第2条 本細則第7条第1号に定める入会金の額は、第5回（1991年3月）卒業生より4,000円とし、1990年9月9日から施行する。

(1993年9月5日改正)

第3条 本細則第7条第1号に定める入会金の額は、第8回（1994年3月）卒業生より5,000円とし、1993年9月5日から施行する。

(2013年9月8日改正)

第4条 本会会則の改正に伴い、本細則を全面改正し、2013年9月8日から施行する。

(2014年9月7日改正)

第5条 本細則第9条から第12条に定める交通費の取扱いは、2015年4月1日から施行する。

2019年度 Inajin 41号制作費（案）

別紙 9

Inajin 40号企画・制作概要：新体制の発表と及び人材の発掘。

制作委託費	数量	単位	単価	金額（税抜）	備考
企画・編集委託費	1	式		100,000	
アートディレクション委託費	1	式		30,000	
取材・ライティング・校正委託費	16	頁	10,000	160,000	
デザイン・DTP委託費	16	頁	10,000	160,000	
DTPオペレート・入校データ管理委託費	1	式		30,000	
取材撮影委託費	6	回	15,000	90,000	
会議・進行管理委託費	1	式		30,000	
小計				600,000	税込 648,000円

編集委員活動費	数量	単位	単価	金額（税抜）	備考
Inajin編集に関する会議費及び交通費、取材協力費 （制作関係者及び取材対象者、広告対象者等）				100,000	
運営通信費・印刷費				10,000	
小計				110,000	税込 118,800円 製作費との合計（税込）766,800円

印刷費	数量	単位	単価	金額（税抜）	備考
同窓会会員用	22,150	部	26	575,900	2018年度21,350部＋33期生約800人
学校・PTA用	3,200	部	26	83,200	在校生・職員・文化祭等イベント用：学校に保管
同窓会保管用	370	部	26	9,620	理事会・総会・寄付者・制作関係者用：同窓会に保管
					合計印刷予定数 25,720部
小計	25,720			668,720	税込 722,217円（消費税8%）

通信費	数量	単位	単価	金額（税抜）	備考
会員向け郵送費	22,150		78	1,727,700	2018年度21,350部＋33期生約800人
小計				1,727,700	税込 1,865,916円（消費税8%）

Inajin 41号制作合計金額	3,106,420	税込 3,354,933円（消費税8%）
------------------	-----------	----------------------

2020 年度記念事業実行委員第 1 回企画会議

2019 年 4 月 14 日 17 時～ミライ上尾にて第 1 回企画会議を行った

参加者 関口さん・大道さん・早坂さん・山本さん・川村さん・森下さん・石川

企画の名称を（仮称）大人の体育祭（INA リンピック）とする。

企画の目的

- 1・会員同士の交流をスポーツを通してより多方面から活発にする
- 2・スポーツの分野で活躍する卒業生を紹介することで、応援する
- 3・各スポーツで活躍する先輩方を現役生にも紹介することで、目標にしてもらう。
- 4・たくさんの参加者を集めることで、同窓会活動の認知度を高める。

企画内容 1 回のメインイベント及び複数回の個別イベントを予定する

1・メインイベント

2020 年 10～11 月頃を目標に県活などの施設（可能であれば伊奈学）を利用してだれでも参加できるような（子供連れなどでも）イベントを企画する。

内容としては、パラスポーツ（ボッチャ他）スポーツチャンバラ（埼玉県で講師派遣可能）ドッジボール、バトミントン、卓球など

2・年間個別イベント

2019 年度より募集する講師・選手を中心に企画を立案し 2020 年度内で 2～3 回程度実行したい。内容としては、各単独種目の大会やアドバイス講座、講演などを企画していきたい現在検討中の企画として

サッカー：昨年サッカーシューズのメーカを復活させた 8 期の佐藤さんを講師に迎えて、講演とサッカー教室を企画している

テニス：大人のいなほ祭内でも行ったテニス大会を開催する。現在伊奈町のテニス協会に「チーム伊奈学」として登録メンバー募集を始めている。尚伊奈町テニス協会主催行事で 2019 年 12 月に伊奈学テニスコートを利用してイベントが開かれるため参加を目指している。

講演：2019 年 4 月の実行委員会に出席いただいた関口さんが筋トレのトレーナーを本職で行っているため、トレーニング理論などの講演を依頼している。

予算

特別予算ではなく通常予算の記念事業費からの支出を予定している

県活のグラウンド及び体育館利用料（グラウンド 1 日 5200・体育館 1 日 17400）

其の他イベント用の保険などを予定している。

2019年度予算（2018年度総会承認済）

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

（単位：円）

科目	予算額	備考
I 収入の部		
1. 会 費 ・ 入 会 金 収 入	4,000,000	入会金5,000円×33期約800名＋利息
2. 会 報 誌 広 告 料 収 入	70,000	広告料10,000円×5件、5,000円×4件
3. そ の 他 収 入	5,000	寄付金、預金利息
4. 会 報 誌 継 続 購 読 料 繰 入 収 入	503,195	継続購読料繰入6,000円×104名＋振込手数料
当期収入合計（A）	4,578,195	
II 支出の部		
1. 運 営 費		
会 議 費	100,000	会場費、会議飲み物代、案内送付費等
庶 務 費	100,000	決算書作成費、振込手数料、残高証明書料、他
交 通 費	50,000	会議交通費、他
ウ ェ ブ サ イ ト 維 持 管 理 費	70,000	レンタルサーバ代、改修費
慶 弔 費	500,000	卒業時記念品、他
備 品 費	50,000	トナー、用紙代、他
物 品 保 管 費	10,000	備品、他保管費
小 計	880,000	
2. 事 業 費		
会 報 誌 制 作 費	775,000	Inajin vol.41 制作運営経費
会 報 誌 等 印 刷 費	750,000	Inajin vol.41 未来へのはがき1,000部印刷費
会 報 誌 通 信 費	1,850,000	Inajin vol.41 メール便約25,000部、発送準備
い な じ ん 交 流 会 事 業 費	90,000	いなじん交流会×2回
H C P 事 業 費	450,000	会議費及びスタッフの参加費等
記 念 事 業 費	200,000	「先輩と夢を語ろう」講師他懇親会費
年 次 活 動 支 援 事 業 費	80,000	理事説明会懇親会費、名刺代、スタッフ交通費
部 活 動 支 援 事 業 費	300,000	全国大会出場部活への支援
会報誌継続購読返金（過年度分）	483,195	会報誌継続購読料返金6,000円×104名
会報誌継続購読返金振込手数料	20,000	振込手数料（会報誌継続購読料返金）
小 計	4,998,195	
3. 予 備 費	3,047,261	
当期支出合計（B）	8,925,456	
当期収支差額（A）－（B）	▲ 4,347,261	
前期繰越収支差額	4,347,261	
次期繰越収支差額	0	

2019年度 Inajin 42号制作費（案）

別紙12

Inajin 40号企画・制作概要：新体制の発表と及び人材の発掘。

制作委託費	数量	単位	単価	金額（税抜）	備考
企画・編集委託費	1	式		100,000	
アートディレクション委託費	1	式		30,000	
取材・ライティング・校正委託費	16	頁	10,000	160,000	
デザイン・DTP委託費	16	頁	10,000	160,000	
DTPオペレート・入校データ管理委託費	1	式		30,000	
取材撮影委託費	6	回	15,000	90,000	
会議・進行管理委託費	1	式		30,000	
小計				600,000	税込 660,000円（消費税10%）

編集委員活動費	数量	単位	単価	金額（税抜）	備考
Inajin編集に関する会議費及び交通費、取材協力費 （制作関係者及び取材対象者、広告対象者等）				100,000	
運営通信費・印刷費				10,000	
小計				110,000	税込 121,000円 製作費との合計（税込）781,000円

印刷費	数量	単位	単価	金額（税抜）	備考
同窓会会員用	22,950	部	26	596,700	2019年度22,150部＋34期生約800人
学校・PTA用	3,200	部	26	83,200	在校生・職員・文化祭等イベント用：学校に保管
同窓会保管用	370	部	26	9,620	理事会・総会・寄付者・制作関係者用：同窓会に保管
					合計印刷予定数 26,520部
小計	26,520			689,520	税込 758,472円（消費税10%）

通信費	数量	単位	単価	金額（税抜）	備考
会員向け郵送費	22,950		78	1,790,100	2019年度22,150部＋34期生約800人
小計				1,790,100	税込 1,865,916円（消費税10%）

Inajin 42号制作合計金額	3,189,620	税込 3,508,582円（消費税10%）
------------------	-----------	-----------------------

紙 2020 年度記念事業実行委員会企画書

名称（仮称）大人の体育祭（INA リンピック）

目的

- 1・会員同士の交流をスポーツを通してより多方面から活発にする
- 2・スポーツの分野で活躍する卒業生を紹介することで、応援する
- 3・各スポーツで活躍する先輩方を現役生にも紹介することで、目標にしてもらう。
- 4・たくさんの参加者を集めることで、同窓会活動の認知度を高める。

企画内容 1 回のメインイベント及び複数回の個別イベントを予定する

1・メインイベント

2020 年 10～11 月頃を目標に県活などの施設（可能であれば伊奈学）を利用してだれでも参加できるような（子供連れなどでも）イベントを企画する。

内容としては、パラスポーツ（ボッチャ他）スポーツチャンバラ（埼玉県で講師派遣可能）ドッジボール、バトミントン、卓球など

2・年間個別イベント

2019 年度より募集する講師・選手を中心に企画を立案し 2020 年度内で 2～3 回程度実行したい。

内容としては、各単独種目の大会やアドバイス講座、講演などを企画していきたい
現在進行中の企画として

サッカー：昨年サッカーシューズのメーカーを復活させた 8 期の佐藤さんを講師に迎えて、講演とサッカー教室を企画している

テニス：大人のいなほ祭内でも行ったテニス大会を開催する。現在伊奈町のテニス協会

に「チーム伊奈学」として登録メンバー募集を始めている。尚伊奈町テニス協会主催行事で 2019 年 12 月に伊奈学テニスコートを利用してイベントが開かれるため参加を目指している。

講演：2019 年 4 月の実行委員会に出席いただいた関口さんが筋トレのトレーナーを本職で行っているため、トレーニング理論などの講演を依頼している。

予算

特別予算ではなく通常予算の記念事業費からの支出を予定している

県活のグラウンド及び体育館利用料（グラウンド 1 日 5 2 0 0 ・体育館 1 日 1 7 4 0 0）

其の他イベント用の保険などを予定している。

2020年度予算計画

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日

(単位：円)

科目	予算額	備考
I 収入の部		
1. 会 費 ・ 入 会 金 収 入	4,000,000	入会金5,000円×34期約800名＋利息
2. 会 報 誌 広 告 料 収 入	70,000	広告料10,000円×5件、5,000円×4件
3. そ の 他 収 入	5,000	寄付金、預金利息
4. 会 報 誌 継 続 購 読 料 繰 入 収 入	503,195	継続購読料繰入6,000円×104名＋振込手数料
当期収入合計（A）	4,578,195	
II 支出の部		
1. 運 営 費		
会 議 費	100,000	会場費、会議飲み物代、案内送付費等
庶 務 費	100,000	決算書作成費、振込手数料、残高証明書料、他
交 通 費	50,000	会議交通費、他
ウ ェ ブ サ イ ト 維 持 管 理 費	70,000	レンタルサーバ代、改修費
慶 弔 費	500,000	卒業時記念品、他
備 品 費	50,000	トナー、用紙代、他
物 品 保 管 費	10,000	備品、他保管費
小 計	880,000	
2. 事 業 費		
会 報 誌 制 作 費	775,000	Inajin vol.42 制作運営経費
会 報 誌 等 印 刷 費	750,000	Inajin vol.42 未来へのはがき1,000部印刷費
会 報 誌 通 信 費	1,850,000	Inajin vol.42 メール便約25,000部、発送準備
い な じ ん 交 流 会 事 業 費	90,000	いなじん交流会×2回
H C P 事 業 費	450,000	会議費及びスタッフの参加費等
記 念 事 業 費	200,000	「先輩と夢を語ろう」講師他懇親会費
年 次 活 動 支 援 事 業 費	80,000	理事説明会懇親会費、名刺代、スタッフ交通費
部 活 動 支 援 事 業 費	300,000	全国大会出場部活への支援
会報誌継続購読返金（過年度分）	483,195	会報誌継続購読料返金6,000円×104名
会報誌継続購読返金振込手数料	20,000	振込手数料（会報誌継続購読料返金）
小 計	4,998,195	
3. 予 備 費	0	
当期支出合計（B）	5,878,195	
当期収支差額（A）－（B）	▲ 1,300,000	
前期繰越収支差額		
次期繰越収支差額	▲ 1,300,000	